

## 研究戦略室



研究戦略室は、本学における研究水準の向上及び特色ある研究を推進するための組織です。ここに学内外の研究者等から構成される研究戦略会議を設置し、先導的・中核的な研究(リーディングリサーチ)の推進、研究推進戦略の審議、国内外の研究情報の収集や分析、科学研究費助成事業など各種研究プログラムへの申請支援を行っています。さらに、リサーチアドミニストレーターを配置して、本学研究者の研究活動をサポートしていきます。

※リサーチアドミニストレーターとは、大学等において、研究者とともに研究活動の企画・マネジメント、研究成果活用促進を行うことにより、研究者の研究活動の活性化や研究開発マネジメントの強化等を支える業務に従事するスタッフです。

## 地域連携戦略室

地域連携戦略室は、全学的な地域連携戦略に関与し、コントロールタワーの役割を担います。本学における地域貢献を有機的かつ全学的に推進するため、地域ニーズの吸い上げ、地域のニーズと本学が有するシーズのマッチング、社会が抱える課題に対応した実践的提言による地域活性化への貢献、地域連携に関する情報収集および分析を行います。

また、学部・研究科・センターの代表からなる地域連携戦略会議を設置し、学内の地域連携活動と情報共有の円滑化を推進します。



## 保健管理センター

保健管理センターは、本部(経済学部キャンパス)、医学部分室、工学部分室、農学部分室からなり、学生及び教職員の心身の健康増進や健康管理を目的として、定期健康診断、健康教育、応急処置、健康相談、心理相談など、広く健康支援活動を行っています。

センターには、医師、心理カウンセラー、保健師が配属されており、健康に関する教育研究も、センター職員の重要な業務です。



## 広報室



広報室は、香川大学における教育研究、地域貢献及び大学法人の運営状況等本学の活動及び運営全般に関する情報を学内外に広く公開することを目的としており、平成25年4月に広報センターから広報室に改組されました。主な活動としては(1)広報誌の作成(2)ホームページの運営(3)報道関係機関への情報提供及び対応等を行なっています。運営にあたっては、学内外の委員から成る運営諮問委員会を設置し、当該委員会の意見を取り入れながらより幅広くきめ細かな広報を推進していきます。

場所は、大学本部1Fを入ってすぐのところにあり、室内では大学案内、各種パンフレット、入学願書等を配布しています。平日9:00～17:00のオープンで、どなたでもご自由にご利用いただけます。

## 大学評価室

本学における教育、研究のさらなる質の向上と適切な法人の運営に資するために、自己点検・評価を行うとともに、評価結果の各部局等への還元及びその改善努力を支援することを目的とし、平成23年4月に大学評価室を設置しました。

### 大学評価室の業務及び組織

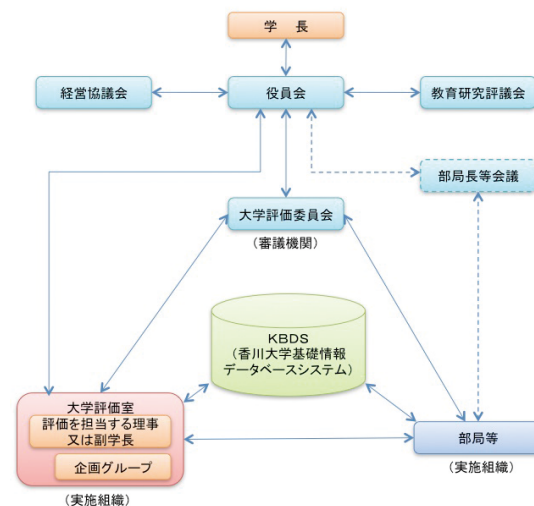
#### 【業務】

- 自己点検・評価の方針に係る企画及び立案
- 自己点検・評価の実施及び対応
- 自己点検・評価に係る情報の収集及び分析
- 自己点検・評価に係る広報活動
- 自己点検・評価結果の各部局等への還元及び改善努力の支援
- その他大学評価室の目的を達成するために必要な業務

#### 【組織】

室長 評価を担当する理事又は副学長  
 評価マネージャー 室長が指名する教員数名、企画グループリーダー  
 室員 企画グループ

### 本学の評価体制



## 男女共同参画推進室



男女共同参画推進室は、香川大学における男女共同参画の推進を図り、すべての教職員・学生が多様性を認め、支え合い、性別を問わず各自の能力等を十分に発揮できる環境を整備することを目的とし、平成22年10月に設置されました。主な活動としては、①男女共同参画(gender equality)についての意識の醸成・啓発 ②育児・介護等の両立支援 ③大学間連携・地域連携 ④女性研究者キャリア支援を行っています。

推進室の相談室は、北5号館1階にあり、男性・女性・学生・教職員、どなたでもご利用いただけます。室内には閲覧用の各種リーフレット等を設置し、制度や社会資源を紹介しているほか、妊産婦の方の休憩室としてもご利用いただくことが可能です。香川大学の全構成員がいつも笑顔でいられることを目指し、事業に取り組んでいます。

## 教育学部附属教育実践総合センター



教育学部附属教育実践総合センターは、学校教育にかかわる様々な実践的・臨床的な課題について、教育学部と附属学校園が香川県の教育関係機関と連携・共同して研究し、その成果を学校教育現場での実践に還元することにより、指導力のある教員の養成や研修に役立てていくことを目的として活動しています。

本センターは教育実践研究部門と教育臨床研究部門から構成されており、関連する様々な教育研究を展開すると同時に、いじめや不登校などの教育臨床的な諸問題への対策やICT(Information and Communication Technology)を活用した教育の情報化、総合的な学習に代表される教育課程

の編成といった教育現場での課題について研修・相談活動を行うなど、現場で活躍する教員とこれから教員を目指す学生の支援を行っています。

## 農学部附属農場

附属農場は学生への農場実習教育と教職員の研究そして経営の3相を持っています。当農場は昭和33年に設置されたのち幾多の変遷を経て、現在は作物栽培、畜産、果樹及び蔬菜花卉の4部からなっています。

総面積(約17ha)の大部分を占める傾斜地では、その特性を生かした家畜飼養、茶樹及び果樹栽培を、また、平地では施設利用の園芸作物栽培と水稻栽培を行い、実習教育に加え大学院生を含む学生の専攻指導もしており、実験室的なものから近年重要性を増しているフィールドサイエンスまでの多様な研究を行っています。



## 瀬戸内圏研究センター 庵治マリンステーション



本施設は、四国北端の庵治半島先端に位置し、自然の砂浜や岩礁帯といった自然環境に恵まれています。施設には、調査船「カラヌスⅢ」(19t)および「ノープリウスⅡ」(1.1t)が配備される他、研究用機器として各種海洋観測機器及び栄養塩、全窒素・リンなどの自動分析装置が備えられ、香川大学の海に関する教育・研究の前線基地となっています。本施設では瀬戸内海の問題、特に沿岸域の栄養環境と生物生産性、養殖漁場の海域環境、干潟を含めた浅海域の生態環境について調査・研究を行っています。

## サテライトオフィス

本学における地域貢献の一環として、平成24年度に香川県内の3か所(三豊市、東かがわ市及び坂出市)にサテライトオフィスを開設しました。西讃から東讃までそれぞれのサテライトオフィスを拠点とし、教育・研究の成果を発表する場、地域の方々との顔の見える交流の場及び地域の方々の生涯学習を支援する場として、地域住民と本学職員・学生の交流などを通して、地域の活性化に貢献することを目指しています。平成26年度からは高松市の「まなびCAN」でも講座を実施しています。



出前講義の様子



学生による演劇公演



デッサン教室での一コマ



オープニングセレモニーの様子

## 香川大学サテライトオフィス

講義は公共施設の一室を利用して行われています。

### サテライトオフィスの運営

- ・地域のニーズを取り入れたコンテンツの開発
- ・自治体とのサテライト運営委員会の設置

### 魅力あるコンテンツの提供

- 出前講義
- ・教養講座
- ・地域連携講座 (地域の歴史、地域の理解等)
- ・医療系講座
- ・学部・大学院の講義
- 各種イベント
- ・音楽系教員、学生サークルによるライブ演奏

### 連携・協力に関する協定、覚書の締結

地域における様々な課題に対応し、幅広い分野での協力・連携するために包括的な協定を締結



坂出市本町1-2-1



高松市  
まなびCAN  
(高松市片原町)

西讃地域  
三豊市市民交流センター  
豊中町農村環境改善センター  
(三豊市豊中町)



三豊市豊中町本山甲192-1

東讃地域  
東かがわ市交流プラザ  
(東かがわ市湊)



東かがわ市湊1806-2